

# 第1号議案

一般社団法人としての初年度（平成24年1月4日～12月31日）に係る報告

## 1-1 一般社団法人としての初年度に係る事業報告および計算書類

### <事業報告>

#### 1. 総括

平成24年(2012年)、色材協会は創立85周年を迎えました。①川島徳道(環太平洋大学)が阿部正彦(東理大)の後任として、新会長に就任しました。②一般社団法人として1月4日に登記が完了し、認可時の公益目的支出計画に従い、非営利型法人として事業活動を行いました。制度改革に伴い、理事会は書面等による議決権行使が出来なくなったため、東京/大阪の2会場をTV会議で繋ぎ、円滑に実施することが出来ました。③科学技術振興機構(JST)より、電子アーカイブ化対象誌として選定され、「色材協会誌」11巻～80巻、及び前身誌の「顔料塗料印刷インキ」1巻～10巻が11月に公開されました。④新講座として「コロイド化学セミナー」、「塗料アドバンス講座」を設け、色材と界面制御への知識の普及と技術の向上に寄与することが出来ました。⑤平成25年(2013年)10月24日・25日色材協会創立85周年記念の国際会議を開催するため、6月にスイスで開催されたFATIPEC 2012・第1回 European Technical Coatings Congress に色材協会を代表して川島が参加し、CSIの会長に日本でのCSI会議開催を依頼した。

1. 会誌の発行：例年通り色材協会誌を毎月1回、計12回定期刊行し、会員に配布した。
2. 2012年度色材研究発表会：本年度の研究発表会は関西支部が企画・運営を担当し、大阪府立大学で平成24年9月20日、21日の2日間にわたって開催した。基調講演1件、茂木記念講演1件、特別講演1件、色材協会賞受賞記念講演3件、依頼講演6件、一般研究発表38件、ポスター発表32件の充実した内容となった。参加者数は188名で、懇親会には104名の参加を得、盛況であった。
3. 色材協会賞の表彰：上記研究発表会の期間中、色材協会論文賞2件、色材協会技術賞1件を表彰し、受賞者による記念講演が行われた。
4. 優秀講演賞、優秀ポスター賞の表彰：上記研究発表会閉会後に選考を行い、優秀講演賞11件、優秀ポスター賞9件を表彰した。
5. 国際交流：本年度は、6月にスイスで開催されたFATIPEC 2012・第1回 European Technical Coatings Congress に色材協会を代表して川島会長が参加した。

#### 2. 会員の構成

平成24年度の年度初めと年度末との会員数は次のとおりである。

	平成24年1月4日	平成24年12月31日
維持会員	169名	172名
正会員	933名	959名
学生会員	130名	140名
公共会員	14名	14名
合計	1,219名	1,285名

### 3. 組織・機構・会議

#### 3.1 役員および名誉会員（平成 24 年 12 月 31 日現在）

	計	関東	関西	中部	
理事	50	29	16	5	会長 川島 徳道 副会長 川村 力（本部担当） 副会長 服部俊雄（関東支部） 副会長 森史郎（関西支部） 副会長 田口義高（中部支部）
監事	2	2	0	0	村田耕一郎、保坂洋
名誉会員	25	13	9	3	中岡俊雄、吉田豊彦、江口金満、岸直行、 柴崎秀雄、熊野勇夫、栃原重三、塩見卓資、 小島正文、土井幸夫、濱田修一、福田啓一郎、 篠原稔雄、村田耕一郎、桂宏光、森禎良、 関根功、伊藤征司郎、筒井晃一、畑宏則、 保坂洋、中澄博行、桑野浩一、藤谷俊英、 松田充弘

#### 3.2 本部・支部および事務局（平成 24 年 12 月 31 日現在）

本部	会長 川島 徳道 副会長 川村 力 事務局 高野則広 生沼映子 小田愛子 森田佳代子	東京都渋谷区恵比寿三丁目 12 番 8 号 東京塗料会館 〒150-0013 電話 03-3443-2811
関東支部	支部長（副会長）服部俊雄	同上
関西支部	支部長（副会長）森史郎 事務局 大宅裕	大阪市北区東天満一丁目 9 番 10 号 大阪塗料ビル 2 階 〒530-0044 電話 06-6356-0700
中部支部	支部長（副会長）田口義高 事務局 中部科学技術センター内 学協会合同事務局	名古屋市中区大須一丁目 35 番 18 号 一光大須ビル 7 階 〒460-0011 電話 052-231-3070

#### 3.3 会議

##### 3.3.1 通常総会（2/29）

一般社団法人として最初の通常総会であり、平成 23 年度事業報告・決算報告、特例民法法人最終年度に係る決算報告、平成 23 年度役員一部補充の件、及び平成 24・25 年度役員選任の件を承認した。また平成 24 年度事業計画および同収支予算が報告された。

##### 3.3.2 理事会 4 回（および運営委員会関西 4 回、中部 2 回）

##### 3.3.3 企画運営委員会 6 回

##### 3.3.6 色材協会賞選考委員会 1 回

##### 3.3.4 編集委員会 12 回

##### 3.3.7 監査委員会 1 回

##### 3.3.5 経理委員会 1 回

##### 3.3.8 予算委員会 1 回

#### 3.4 委員会・部会・研究会

##### 3.4.1 編集委員会 委員長：浅田匡彦、副委員長：柴田雅史、久司美登

##### 3.4.2 企画運営委員会 委員長：川島徳道

##### 3.4.3 色材協会賞選考委員会 委員長：浅田匡彦（論文賞）、服部俊雄（技術賞）

##### 3.4.4 広報委員会 委員長：高橋俊哉

##### 3.4.5 顔料部会 部会長：服部俊雄（関東支部）、菅野敏彦（関西支部）

- 3.4.6 塗料部会 部会長：長沼桂（関東支部）、高山裕一（関西支部）
- 3.4.7 印刷インキ部会 部会長：山中俊雅（関東支部）、中立貴之（関西支部）
- 3.4.8 インクジェット部会 部会長：下村明彦
- 3.4.9 顔料物性研究会 会長：船倉省二
- 3.4.10 木材塗装研究会 会長：大隅豊康
- 3.4.11 測色研究会 会長：武井昇
- 3.4.12 印刷インキ技術研究会 会長：山中俊雅
- 3.4.13 ホームページ委員会 委員長：須原常夫
- 3.4.14 2012年度色材研究発表会実行委員会 委員長：森史郎
- 3.4.15 85周年記念会議 組織委員長：川島徳道、実行委員長：森史郎

#### 4. 委員会活動の概要

##### 4.1 2012年度色材研究発表会実行委員会

平成24年度は以下の活動により準備、実行、まとめを行った。

実行委員会（7回：H23 7/14、11/10、H24 1/17、3/13、5/7、7/6、9/4）

##### 4.2 85周年記念会議

準備委員会（3回：H24 5/10、7/3、9/10）、実行委員会（2回：H24 10/25、12/5）

#### 5. 行事および事業の概要

##### 5.1 本部

###### 5.1.1 編集事業

機関誌である色材協会誌は年12回の定期刊行。年間の総ページは516ページ、うち研究論文は14件、技術論文4件、ノート3件、解説16件、総説3件、講座29件、サロン7件、部会・研究会活動報告4件。毎号1700部を印刷して全会員に配布し、また交流団体機関に寄贈した。

色材協会誌の電子ジャーナル化にともない、以下の表彰を行った。

Most Accessed Paper Award 中嶋 健、藤波 想、王 東、西 敏夫

「原子間力顕微鏡による高分子材料の粘弾性評価」83[3], 108-114 (2010)

Most Accessed Review Award 橋本 勲

「最新顔料講座」83[8], 337-345 (2010)

###### 5.1.2 色材協会賞等の表彰（9/20）

（論文賞）

「ポリエチレンテレフタレートフィルムを基材とする二色性色素を用いた偏光フィルムの作製とその特性」

大阪府立大学大学院工学研究科

八木繁幸、中澄博行

「表面力装置による金属—高分子接着の評価」

東北大学多元物質科学研究所<sup>1)</sup>、東北大学原子分子材料科学高等研究機構<sup>2)</sup>、住友金属鉱山(株)<sup>3)</sup>

水上雅史<sup>1)</sup>、杉原理<sup>1)</sup>、栗原和枝<sup>1)、2)</sup>

山辺秀敏<sup>3)</sup>、安東勲雄<sup>3)</sup>、西村幸子<sup>3)</sup>

（技術賞）

「IT家電用、高意匠性、高密着性電着塗料の開発」

(株)シミズ

太田智章、西村茂文、砂留満久

公益財団法人名古屋産業振興公社

福田博行

5.1.3 創立85周年記念2012年度色材研究発表会 (9/20~21 大阪府立大学)

基調講演 「EVの創りだす未来～持続可能な社会実現に向けた日産の挑戦～」  
日産自動車(株) 常務執行役員 篠原 稔

茂木記念講演 「色の錯視」  
立命館大学文学部人文学科 教授 北岡 明佳

特別講演 「情報家電産業の高度化を担う機能性色素」  
大阪府立大学大学院工学研究科 教授 中澄 博行

依頼講演	6件
一般研究発表	38件
ポスター発表	33件
色材協会賞(論文賞)	2件
色材協会賞(技術賞)	1件
優秀講演賞	11件
優秀ポスター賞	9件
参加者	188名

5.1.4 研究会活動

- ・顔料物性研究会 (3/7、3/13、6/11、7/20、9/11 参加者延44名)
- ・印刷インキ技術研究会 (3/12、6/26、9/19、10/26、12/12 参加者延88名)
- ・木材塗装研究会 (1/23、4/18、6/22、9/19、10/18-20、11/28-29 参加者延85名)

5.1.5 国際交流：本年度は、6月にスイスで開催された FATIPEC 2012・第1回 European Technical Coatings Congress に色材協会を代表して川島会長が参加した。

5.2 関東支部

講座名	開催日	参加者
第21回顔料分散講座 5講	2/3	91名
印刷インキ講座 5講	5/23	64名
塗料講演会 5講	5/11	46名
第53回塗料入門講座 20講	6/14.15.7/12.13	106名
色材協会関係コロイド化学セミナー	6/18.19.22	44名
印刷インキアドバンス講座 5講	10/3	31名
第37回顔料物性講座 5講	11/14	48名
第9回色材IT講座 12講	12/6.7	104名

5.3 関西支部

講座名	開催日	参加者
色材セミナー 4講	5/16	38名
色材分散講座 5講	7/11	38名
第45回塗料講座 11講	8/1,2	40名
インキ講座 4講 (印刷インキワニス工業会と共催)	9/6	45名
色材講演会 4講	11/22	37名
見学会	12/19	28名

5.4 中部支部

講座名	開催日	参加者
色材セミナー 4講	3/13	25名
色材オブザベーション見学会	7/19	40名

色材分析講座 6 講	9/28	40 名
第 43 回中部化学関係学協会支部連合協議会秋季大会	11/10	—
色材アドバンスセミナー 4 講	11/29	44 名

### 5.5 関連学会・協会との共催・協賛による事業

行事名	主催	開催日
ポリマーフロンティア 21	高分子学会	1/20
腐食防食部門委員会 第 284 回例会	日本材料学会	1/24
日本技術士会化学部会講演会	日本技術士会化学部会	1/26
平成 23 年度第 2 回講演会	日本塗装技術協会	2/10
平成 24 年冬季セミナー	日本印刷学会	2/16
日本技術士会化学部会講演会	日本技術士会化学部会	2/23
第 27 回塗料・塗装研究発表会	日本塗装技術協会	3/9
工業塗装高度化協議会セミナー	工業塗装高度化協議会	3/19、4/5
ポリマーフロンティア 21	高分子学会	3/2
シンポジウムプレビュー ELKIN2012	界面動電現象研究会	3/17
腐食防食部門委員会 第 285 回例会	日本材料学会	3/7
第 65 回 顔料工学講座	日本顔料技術協会	3/15
第 54 回 顔料・色材基礎講座	日本顔料技術協会	4/17～18
第 57 回 技術セミナー	腐食防食協会	4/19
The 10th International Symposium on Electrokinetic Phenomena (ELKIN 10th)	界面動電現象研究会	5/20～24
2012 年度(第 50 回)日本接着学会次年大会講演募集	日本接着学会	6/29～30
日本鋼構造協会講習会	日本鋼構造協会	6/1
レオロジー・クラシック 2012	日本レオロジー学会	6/15
第 23 回キャタリシススクール	触媒学会	6/18～22
平成 24 年度 第一回講演会	日本技術士会	6/22
日本技術士会化学部会講演会	日本技術士会	6/28
2012 年度 第 1 回P&I研究会シンポジウム	日本印刷学会	6/12
第 30 回関西界面科学セミナー	日本化学会	7/6～7
マテリアルライフ学会	マテリアルライフ学会	7/5～6
第 11 回技術としての分散系レオロジー	日本レオロジー学会	7/6
2012 年度印刷・情報記録・表示研究会基礎講座	高分子学会	7/27
近化高機能材料セミナー	近畿化学協会	8/1
第 39 回コロロジョン・セミナー	防食腐食協会	8/22～24
日本技術士会化学部会講演会	日本技術士会	8/23
第 59 回技術セミナー	防食腐食協会	9/19
第 59 回材料と環境討論会	防食腐食協会	9/24
第 32 回農薬製剤・施用法シンポジウム	日本農薬学会	9/27～28
筆で塗れる電子回路	神奈川科学技術アカデミー	9/5
第 3 回塗装入門講座	防食腐食協	9/13～14
第 66 回顔料工学講座	日本顔料技術協会	10/10
第 62 回ネットワークポリマー講演討論会	合成樹脂工業協会	10/17～19
国際紛体工業展東京 2012	日本紛体工業技術協会	11/28～30
接着信頼性を高めるための表面処理技術セミナー	日本接着学会	10/25～26
第 17 回高分子分析討論会	日本分析化学会	10/25～26

第 29 回製剤と粒子設計シンポジウム	紛体工学会	10/25～ 26
第 11 回食品レオロジー講習会	日本レオロジー学会	11/1～2
第 17 回コロイド・界面実践講座	日本化学会	11/5
第 211 回西山記念技術講座	日本鉄鋼協会	11/9
第 55 回スガウェザリング学術講演会	スガウェザリング技術振興財団	11/7
進化する部品塗装	日本塗装技術協会	11/16
第 21 回ポリマー材料フォーラム	高分子学会	11/1～2
第 38 回「感性研究フォーラム」講演会	繊維学会	11/30
第 32 回レオロジー講座	日本レオロジー学会	12/6～7
2012 年度画像 4 学会合同研究会	日本写真学会、画像電子学会、 日本印刷学会、日本画像学会	12/10
第 36 回紙パルプ計装技術発表会	紙パルプ技術協会	12/11
R&D懇話会(第 162 回)	公益社団法人日本化学会	12/7
2015 環太平洋国際化学会議	日本化学会	12/15～ 20

## 6. 外部機関との交流

### 6.1 国内機関

#### 6.1.1 共同事業

5.5 で記したように、国内の 28 団体などと共催・協賛で事業を行った。

#### 6.1.2 交流

国内の 52 団体などと交流し刊行物の寄贈交換を行った。

### 6.2 海外機関

本年度は、6 月にスイスで開催された FATIPEC 2012・第 1 回 European Technical Coatings Congress に色材協会を代表して川島会長が参加した。

国名	機関名
アメリカ合衆国 (4)	1. National Printing Ink Research Institute (Lehigh University) 2. A Division of the American Chemical Society Library 3. The Library of Congress 4. The Center for Research Libraries
ドイツ (3)	1. Forschungsinstitut für Pigmente und Lacke 2. Deutsche Farben-Zeitschrift Fachblatt für die Industrie der Farben und Lacke 3. Universitäts Bibliothek Hannover und Technische Informationsbibliothek
イギリス (2)	1. Information Center PIRA International 2. The British Library
ロシア (3)	1. Academy of Science of the Russian Library 2. Institut nauchnoi informatsii Akademii nauk Russia 3. All-Russian Institute of Scientific and Technical Information

中華人民共和国 (6)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. THE International Exchange Section of the National Library of Peking</li> <li>2. The Institute of Scientific Information, Academia China</li> <li>3. Library, Exchange Section, Research Institute of Chemical Processing and Utilization of Forest Products, Chinese Academy of Forestry</li> <li>4. China National Chemical Information Center</li> <li>5. China National Coatings Industrial Association</li> <li>6. ChangzhouPaint &amp; Coatings Industry Research Institute Society of Coatings &amp;Finishing of Ciesc National Paint&amp;Coatings Industry Information Center</li> </ol>
イタリー (1)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Istituto di Chimica Industriale del Politedenico</li> </ol>
シンガポール (1)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Chemical Technology Center Technology Development Division Singapore Productivity And Standards Board</li> </ol>

### 6.3 関連機関

C S I	Coatings Societies International
F A T I P E C	Fédération d'Associations de Techniciens des Industries Des Peintures, Vernis, Émaux, et Encress d'Imprimerie De l'Europe Continentale. (Federation of the Associations of Technicians of the Paint, Varnish and Ink Industries of Continental Europe)
A C A (旧 F S C T)	American Coatings Association
O C C A	Oil & Colour Chemists' Association
S C A A	Surface Coatings Association Australia
S C A N Z	Surface Coatings Association New Zealand
S L F	Skandinaviska Lacktekikers Förbund
(F S P V T)	(Federation of Scandinavian PaintandVarnish Technologists)
S A T E R	Sociedad Argentina Da Tecnologos En Recubrimientos
S T A R	Sociedad De Tecnologos Andinos Recubrimientos

## 7. 内閣府および経済産業省関連事項

### 7.1 公益目的財産額の確定手続き

一般社団法人への登記に伴い、3月29日に公益目的財産額(¥8,877,011)の確定に係る書類を内閣総理大臣へ提出した。

### 7.2 事業報告書など

経済産業大臣に平成23年度事業報告書、決算報告書、監査報告書および特例民法法人としての最終年度に係る決算報告書を3月19日に提出し受理された。一般社団法人への移行により、今後は経済産業省への書類提出の必要はなくなるが、引き続き所管業種の関係団体として活動して行く。

## 平成 24 年度事業報告 附属明細書

平成 24 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 25 年 2 月  
一般社団法人色材協会